HOKKAIDO UNIVERSITY

Title	『北海道大学文學部紀要』と『北海道大学人文科学論集』の合併についてのお知らせ
Author(s)	安西, 祐一郎; 岩本, 隆茂
Citation	北海道大學文學部紀要, 36(1), 243-244
Issue Date	1988-01-16
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/33515
Type	departmental bulletin paper
File Information	36(1)_PR243-244.pdf

Hokkaido University Collection of Scholarly and Academic Papers : HUSCAP

『北海道大学文學部紀要』と『北海道大学人文科学論集』の合併についてのお知らせ

昭和二十五年に法文学部が分離・独立したのを受けて昭和二十七年に文学部から『北海道大学文學部紀要』が創刊されたが、その後『外国語・外国文学研究』が昭和二十八年に発行され、また『北海道大学人文科学論集』は昭和三十七年度から刊行され始めた。ただし、あとのふたつはともに「主たる執筆対象者は文学部教官」としながら当初はいずれも教養部から刊行されていたが、のちにはあいついで文学部から刊行されるようになった。文学部に北方文化研究施設が開設されるとともに、昭和四十一年より『北方文化研究』も発行されるようになったから、文学部は一時は四種類の紀要類を刊行していたわけである。

これは当時の北海道大学文学部における教官組織が、専門教育のための「講座」、北方文化研究施設としての「研究部門」、一般教育のための「学科目」の三者からなりたっていたのがその一因である。しかし、言語文化部の創設にともなって『外国語・外国文学』は、昭和五十六年度からは言語文化部より発行されることになった。ついで文学部は昭和六十年度からそれまでの「専門教育・研究施設担当教官を主たる構成員とする教授会」と、「一般教育担当教官を主たる構成員とする教授会」の一本化をおこない、それにともなって『文學部紀要』と『人文科学論集』の合併と、新紀要の名称を『文學部紀要』とすることが昭和六十二年二月二十日の教授会で認められた。これらの経緯については『人文科学論集』の最終号で詳細にご報告するとともに、その巻末に「人文科学論集総目録」を掲載してその二十

『北海道大学文學部紀要』と『北海道大学人文科学論集』の合併についてのお知らせ

四年間にわたる歴史の概要を記録し、今後の利用者のための便宜が計られている。

このような次第であるので、これまで『文學部紀要』のみを受け取っておられた方々には、本号は一見、これまでとはなんの変わりがないように見受けられようが、本号以降の『文學部紀要』はかつての『文學部紀要』と『人文科学論集』の合併したものであることに留意していただきたい。またこれまで『人文科学論集』を受け取っておられた方々には、本号からはそのかわりに『文學部紀要』が送付されることになるので、このことについても併せてご了承いただきたい。

昭和六十二年九月三十日

北海道大学文学部紀要委員　安西祐一郎
岩本隆茂

参考文献

岩本隆茂・羽田野正隆　一九八六。『人文科学論集』の終刊にあたって　北海道大学人文科学論集　二四、一〇一―一〇二。

『北海道大学人文科学論集』総目録　北海道大学人文科学論集　二四、一〇三―一一〇。